

大震災のPart.2
克服を目指して

新党日本代表

田中康夫が 被曝被災地に突入

放射能を恐れ、物流も
マスコミも入らない……。
南相馬市の支援活動を
緊急ルポ

阪神・淡路大震災ではボランティアとして活動、長野県知事時代は中越地震で新潟県と連携して支援を行った田中康夫・新党日本代表が、仙台を経由して福島第一原発30km圏内の南相馬市に入った。

東

北地方太平洋沖地震の発生から1週間後の3月20日、津波被害もあつた福島県南相馬市に行ってきた。10トトラック3台に食料と防寒着、ドライシャンプーなどを積み、東京でエスニックテイストの弁当販売を行っている人と5種類のカレーを2000食分持って行って炊き出しをしました。

南相馬市は、福島第一原発から30km圏内に市の一部分が入っています。国は屋内退避を指示しながら食べ物や医薬品なども届けて



水、防寒着、下着、漫画本と時々刻々、支援物資は変化

いない。被曝を恐れて、物資輸送のトラックも入っていない。「屋内にいろ」と言っておきながら「自分で調達しろ」という破黄鳥状態。無理な話です。

「マスコミも物流も入らない」棄民状態

知人である桜井勝延市長に再会すると、東北電力管内で電気は通じるのでテレビは見られる。そこで「屋内退避」と言われているのを知ったそうです。県からも国からも1週間連絡なし。今の政府に

は指揮系統すらない。南相馬市は東電関連の原発交付金を1円も受けていません。が、東電はこの状況でも一本の電話すらしていない上から目線です。マスメディアは地元「福島民報」の記者だけで、NHKは真っ先に駐在記者の退避命令を出しました。まさに「棄民」状態です。

さらに、被災地域のNHKラジオ第2は、ライフラインや避難所、医療機関等の情報提供に24時間徹

するべしと提言。しかし、どれも官邸は実行していません。こうしたマクロな部分のロジスティクスは国がやるべき。その上でそれぞれの避難所で必要な対応は何か、という話になるのです。必要な巨額予算は、利子も国庫納付金となる震災復興債を日銀直接引き受けて100兆円発行する

東電は南相馬市への謝罪も説明も行わず、原発がなければ電力は足りなくなりますが、と「説教強盗」のような「無計画停電を首都圏で続けていますが、複数の巨大原発を一所に並列して、一基が事故になれば横にも危機が及ぶのは当然。今回の事故で、効率的と思われていた原発が、事故のリスクとコストを考えれば最も効率が悪いと判明した。エネルギーは



1週間も風呂に入れぬ避難所で養生堂のドライシャンプーを手渡す。こうした潤いこそ、被災者への思いやり



山口健司氏率いるアジアランチとコロパでフォーにカレー味料理2品の炊き出し。10日ぶりに温かい食事



家族と住居、職場すら失った今回は阪神・淡路大震災と異なる。大胆な復興計画が不可欠



津波に呑み込まれた仙台市若林区の荒浜郵便局跡地

ボランティアとは、再び相手が一緒に立ち上がっていくことができる場所。誰でも、できることを出さずとも知恵を出さずとも、体を動かすことも、そこに優秀の差などない。避難所に泊まると邪魔なら、お金を払って旅館に泊まるのだから悪くない。支援の人の運転手をするか、寝たきりのお年寄りを数日あずかるのだからいいんですよ。もう一つ、わけ隔てなく、完璧な支援をしようなんて

「ボランティアは恋愛と一緒に。喜ばれてナンボ」ボランティアとは、再び相手が一緒に立ち上がっていくことができる場所。誰でも、できることを出さずとも知恵を出さずとも、体を動かすことも、そこに優秀の差などない。避難所に泊まると邪魔なら、お金を払って旅館に泊まるのだから悪くない。支援の人の運転手をするか、寝たきりのお年寄りを数日あずかるのだからいいんですよ。もう一つ、わけ隔てなく、完璧な支援をしようなんて

相馬市 環境放射能測定値

測定日	測定時間	測定値	測定地点			
3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
4.5	1.0	2.0	2.0	1.7	1.7	1.7
2.0	1.5	1.0	2.0	1.0	1.8	1.8
3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5

赤十字やメディアなどに募金する人が多いけど、それらは共同募金の分配委員会に入って、具体的な配分が決まるのに半年近くもかかる。で、確か中越地震でも最後に10億円近く残った。それで箱モノを造るわけにもいかず、議論になった。だったら、具体的活動をして、自分が信頼できる集団に託したほうが確実に生きる。自分の渡したお金や物がどう使われているかがわかるほうが、支援のしがいもあるでしょ。

時として怪しいNPOの義援金詐欺に騙されるかもしれない。少し突き放すようだけど、それも自己責任。物を買うのと同じで、目利きの力があるかどうかです。それも含めて前向きに考えないと。自信がない人は新聞社や赤十字などに募金すればいい。でも「何かをしたい」という気持ちが出す勇気もある人は、もう一歩踏み出す勇気を持てるか嬉しいですね。(談)

まずは現地に入り、手助けし、話を聞くと、次に行くべき支援も見えてくる。下地幹郎代議士(左)、桜井南相馬市長と